

校内での「暑さ」対策について

梅雨の中休みのはずが・・・
梅雨前線が行方不明になって
さらに太平洋高気圧が張り出して
異常な（危険な）暑さが続いています。



学校のエアコンはGHP（ガスヒートポンプ）空調が導入されています。
ガスエンジンで稼働する空調機器です。
すでにご存知の方もいらっしゃると思いますが、「災害に強い」「節電になる」「環境に優しい」ことが主な特徴です。しかしながら、メリットだけでなくデメリットもあります。
GHPは「暖房に強い」といわれる通り、学校などの施設で猛暑となった場合
「冷房の効きが・・・」となることがよくあります。

特に本校のような旧式の校舎の場合、上層階に上がるほど・・・
最上階にあたる教室 3階（2年生）が厳しい状況になっています。
現在、早朝より、クーラーのフル稼働で対応していますが・・・

緊急対策として

「うちわ」、「扇子」、「小型扇風機（ハンディファン）」等の避暑グッズがあれば
各自持参してください。

授業に支障の無いように「涼」をとってほしいと思います。
これだけ暑くなると、水分の補給も重要なポイントになります。水筒も忘れずに、校内の
冷水器等を上手く活用してください。

（自動販売機の導入も準備しています！）

さらに「日傘」等も重要なアイテムになると思いますので上手く活用してほしいと思います。

「熱中症対策」できる限り快適に学校生活を過ごせるように・・・

工夫していきたいと思っています！